

令和4年度 第3回 鎌ヶ谷市障がい者地域自立支援協議会 会議録 (概要)

日 時 令和5年2月28日(火) 午後2時00分から午後3時00分

場 所 総合福祉保健センター 3階 集団指導室

出席者 三浦健委員、向井智之委員、渡辺浩隆委員、田島徹子委員、篠田紫織委員、多田康一郎委員、吉田鈴美委員、渡邊輝江委員、岩橋直也委員、山本幸子委員、山寄幸子委員、櫻澤美智子委員、飯高優子委員、西出信夫委員、會澤奈穂子委員、森井真理委員、林宏幸委員(鎌ヶ谷市社会福祉課長)、
館岡文委員(鎌ヶ谷市健康増進課主幹)

関係者 屋代利津子(習志野健康福祉センター地域福祉課広域専門指導員)、
荘司勝(障がい者の働くを支えるチームリーダー)、
渡辺博(地域資源を調査・研究しよりよい方策を提言するチームリーダー)、
福田弘子(精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム検討チームリーダー)、
林恵利(医療的ケア児支援チームリーダー)

欠席者 菊地謙委員、勝又和久委員

事務局 【障がい福祉課】星野障がい福祉課長、高橋奈帆子庶務係長、稲葉もも主任主事
【鎌ヶ谷市基幹相談支援センターえがお】渡辺恵美子所長、坂巻美佳、岩室優子

公開・非公開の区分 公開

傍聴者 1名

添付資料

- ・式次第
- ・令和4年度鎌ヶ谷市障がい者地域自立支援協議会委員名簿
- ・各テーマ別チームからの令和4年度活動報告資料
 - 「地域連携部会」部会員一覧
 - 鎌ヶ谷市障がい者地域自立支援協議会 地域連携部会 チーム参加者一覧
 - 令和4年度鎌ヶ谷市障がい者地域自立支援協議会の年間スケジュール(全体・実績)
 - テーマ別チームでの検討整理(簡略版)
 - 各テーマ別チーム資料
 - (1)「令和4年度版 鎌ヶ谷市障がい者就労系事業所ガイドブック」
 - (2)提言書、アンケート結果
 - (3)「困った!どうする!?支援者向けシート」
 - (4)「障害平等研修」チラシ、アンケート集計結果
 - (5)「つながるシート」、「生活状況チェックシート」、「支援者チェックシート」、「情報提供書(ひな形)」
 - (6)「鎌ヶ谷市医療的ケアが必要な方のサポートマニュアル」
- ・鎌ヶ谷市障がいを理由とする差別の解消の取り組みについて
- ・計画の概要と期間及び位置づけ
- ・障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例チラシ
- ・ヘルプマーク知っていますか?チラシ

- ・聞こえない人も聞こえる人もみんな一緒に暮らしやすくパンフレット
- ・障害のある人に対する理解を広げようパンフレット
- ・障害者等用駐車区画利用証チラシ
- ・ほじょ犬チラシ

<本日の傍聴人及び会議の出席状況について>

事務局より、出席者数（18名）が会議開催の定足数である「委員の過半数の出席」を満たしていること及び傍聴者が1名であることを報告した。

<新任委員の紹介>

障がい福祉課長より鎌ヶ谷市障がい者地域自立支援協議会（以下「協議会」という。）委員の1名を紹介した。続いて委員の自己紹介を行った。

各テーマ別チームからの令和4年度活動報告

事務局より資料「鎌ヶ谷市障がい者地域自立支援協議会地域連携部会テーマ別チーム」について説明した。

会長

各チームリーダーより報告をお願いしたい。

障がい者の働くを支えるチーム

市内の就労系事業所で働く職員や利用者等が活用できるよう就労系の事業所に特化した「令和4年度版 鎌ヶ谷市障がい者就労系事業所ガイドブック」を作成した。写真を入れる等、雰囲気や特徴が分かりやすいようにしている。このガイドブックを市のホームページに掲載可能か、また配布をしてよいかどうかの2点を確認したい。

地域資源を調査・研究しよりよい方策を提言するチーム

通所・通学の移動支援が利用できないという問題にスポットをあて、令和元年度と平成27年度に「通所・通学に関するアンケート調査」を実施した。アンケート結果を精査し、課題をしぼりこみ「提言書」を作成した。平成28年にも同じ提言をしている。「提言書」の検討をお願いしたい。

障がい者のつながりを支えるチーム

支援者向けの「困った！どうする！？支援者向けシート」を作成した。分かりやすいように電話番号も記載した。裏面には、支援先の概要・つながりを支えるポイントをまとめた。福祉の現場経験が浅い支援者等の業務に役立てて欲しい。次年度は、このシートを実際にどの現場でどの様に活用していくか、どこに配布していくか、配布方法等を検討していく。

障がい分野の情報を発信・啓発するチーム

令和4年12月17日（土）南部公民館にて、事業所の支援者向けに「障害平等研修」を実施した。アンケートの集計結果の内容評価は良く、運営にも大きな問題はなかった。今後は、障がい種別に特化した研修や一般市民を対象とした研修等も考えていきたい。また、チーム会議にオンライン会議を導入し、タイトなスケジュールにも効率よく対応できた。

精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム検討チーム

フローチャート「つながるシート」を作成し可視化した。

「医療機関につながっている場合」「医療機関につながっていない場合」のシートは、市役所の窓口にて活用を始めたところ。新たに医療機関から地域へ戻る場合の「退院して地

域へ」シートと、主に計画相談の方が作成して医療機関に提出する「情報提供書」を書式化した。実際にこれらのシートを使ってみて内容等を調整していく。

医療的ケア児支援チーム

医療的ケア児や障がい者の災害時の対応が課題としてあがった。災害時に避難した際に、支援者側がどう対応したらよいかをまとめた「鎌ヶ谷市医療的ケアが必要な方のサポートマニュアル」を作成した。障がい福祉課が避難所等に配布している「コミュニケーション支援ボード」に追加して有効活用したい。

会長

ただいまの説明について質疑があればお願いしたい。

委員

「鎌ヶ谷市障がい者就労系事業所ガイドブック」の就労継続支援B型の工賃について、表現が正しいか確認して欲しい。

チームリーダー

確認して修正する。

委員

災害時の避難所には、ある程度プライバシーを保護できる仕切り等の設備はあるのか。

事務局

福祉避難所に指定されているところでは資材を購入している。すべての避難所にあるかどうかは不明。

委員

各チームの成果物の資料について、掲載されている関係機関には許可や確認をとっているか。

事務局

事務局より確認を行なう。

会長

チームリーダーから説明いただき内容を確認した「令和4年度版 鎌ヶ谷市障がい者就労系事業所ガイドブック」、「困った！どうする！？支援者向けシート」、「つながるシート」、「生活状況チェックシート」、「支援者チェックシート」、「情報提供書（ひな形）」、「鎌ヶ谷市医療的ケアが必要な方のサポートマニュアル」について、対外的な周知および活用をしていくということによろしいか。

異議なし

会長

地域資源を調査・研究しよりよい方策を提言するチームの「提言書」については、要綱の改定や予算の確保等の事務的な課題がある。市が前向きに検討するよう協議会から積極的に働きかける。特別支援学校等への調査を協議会名で行なうことについても了承してよいか。

賛成挙手

次年度のテーマ別チームの活動方針について

事務局より資料「テーマ別チームでの検討整理（簡略版）」について説明した。引き続き

同じテーマを検討したいとの意見が多いため、令和5年度も同じ6つのテーマ別チームでやっていきたい。各チームメンバーには、年度の初めに意向調査をする。

会長

次年度の活動方針について、了承でよろしいか。

賛成挙手

障がいを理由とする差別の解消の取組と相談事例について

事務局より、協議会の掌握事務に「障害者差別解消支援地域協議会」としての事務事項を追加し、「障害者差別解消支援地域協議会」の機能を兼ねる。協議会に追加される内容は、相談事例等に係る情報共有と、差別解消の取組の啓発の方向性について委員より意見をいただくことの2点となる。資料「鎌ヶ谷市障がいを理由とする差別の解消の取り組みについて」について説明した。

広域専門指導員

資料「鎌ヶ谷市障がいを理由とする差別の解消の取り組みについて」の障害を理由とする差別に関する相談事例を基に令和3年度の実績を報告した。

会長

ただいまの説明について質疑があればお願いしたい。

特になし

第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画の策定について

事務局より資料「計画の概要と期間及び位置づけ」を基に策定体制等を説明し、令和5年度は例年より協議会の開催回数が増えること等の了承をお願いした。

会長

ただいまの説明について質疑があればお願いしたい。

特になし

会長

ほかになければ以上で協議会を終了する。

閉会

以上、会議の経過を記録し、相違ないことを証するため次に署名する。

令和5年6月1日

氏名 吉田 鈴美 _____

氏名 渡邊 輝江 _____